

Improvement Of Teaching Methods(16)

授業過程

校長

授業の内容である単元または小単元の教授、学習を展開していく順序を授業過程といいます。いわゆる単元のひとつの構成要素で、一単元でどのような流れで授業を行い、目標を達成していくのかを意味します。ひとつの授業の時間的順序を教授過程、区切りを教授段階といいます。

ヘルバルトに代表されるように、授業は何段階かに分けていますが、最もポピュラーなのは3段階(導入－展開－結末)説です。授業は各段階の中心的な役割を考えながら進めていきます。

授業過程のポイント

1. 導入段階は生徒に課題意識を持たせ、自ら学ぶ意欲を喚起させます。教員が生徒に学習課題を提示することでもあります。
2. 導入段階は教員が学ばせたいことを、生徒が学びたいと思うようにすることが大切です。
3. 展開段階は授業中心的な段階であり、導入段階での課題の解決や探求を行います。
4. 展開段階では、教科書や演習問題の内容をそのまま教授するのではなく、ペアやグループで活動させたり、発問をなげかけたり、生徒の意見を取り上げたり、授業がダイナミックになるような計画を行います。
5. 結末段階は生徒に教材の把握したものを知識、理解となるように転換させます。
6. 最初に提示した課題に対して結論を示します。また、本時の学習の反省を行います。
7. 次の授業の予告を行い生徒の予習を促し、学習効果が上がるように努めます。

注意点

1. 導入段階は号令や出欠席を取るための時間ではありません。
2. 展開段階で教科書や演習問題ノートの内容を、そのまま教えていると、授業は平板になってしまいます。
3. 「授業展開」と「展開のある授業」は同じ意味ではありません。展開のある授業にするには、教員が教材や生徒と対峙し、授業観や生徒観を立てることが大切です。それが授業の動態化につながります。
4. 結末は必ずしも閉じた結末にする必要はなく、生徒の学習意欲を誘引するようなオープンエンドでもよいのです。